

訓練最盛期 北の大地に鍛える 各種競技会実施



第十二施設群では、六月三日、岩見沢駐屯地孫別演習場において、一般市民及び隊員家族百四十名を招き各施設中隊の橋梁架設能力の向上及び野外炊事能力の向上を図り、部隊の団結及び士気の高揚を図る目的で架橋及び炊事競技会の公開訓練を行った。

競技会に先立ち寺村群長は「架橋・炊事ともに訓練の積み上げが基本である。自らの練度向上を図るとともに真剣に取り組み、安全・確実・迅速を心がけ中隊の名譽を掛け頭張るように。」と要望し、競技会は開始された。

架橋競技では、分隊長以下十五名によりM4A2ボック固定橋（七メートル橋）を架

架橋・炊事競技会

家族・市民を招く

設。ドーザを橋上通過させ、所定の位置に停止させるまでの所要時間と正確さを競った。各中隊の選手は、群長の要望、家族等見学者の応援に応えるべく、分隊長を核としたチームワークと闘争心を発揮して健闘した。

競技の結果、昨年に続き第三五施設中隊が二連覇の栄冠を得、見学者から盛大な拍手を浴びた。

また、炊事競技では、炊事班長以下四名により統一献立（親子丼、サラダ、すまし汁及び駐屯地で採れた山菜料理）の調理技術を競った。

審査は、隊員の他、部隊の栄養士及び一般婦人三名を含む合計七名の審査員により厳正に行われた。

今年は、各中隊とも味付けの他、盛り付けにも工夫が見られ、風味漂う見事な出来映に、審査員泣かせの逸品揃いとなった。

審査の結果、僅差で第三五施設中隊が優勝の栄冠を得た。

また、見学に訪れた市民及び隊員家族も、競技会で出来あがったばかりの親子丼等を試食。「演習場でこんなに美味しい料理をいただけるとは思わなかった。私たち主婦も願負け。」との評価も得、一般市民・隊員家族に理解を得る意義ある公開訓練となった。



IWAMIZAWA

発行所 陸上自衛隊 隊地会
岩見沢市日の出1-3
印刷所 北海道立福祉村
空知郡栗沢町最上350
☎ (0126) 45-2721

今年、各中隊とも味付けの他、盛り付けにも工夫が見られ、風味漂う見事な出来映に、審査員泣かせの逸品揃いとなった。

審査の結果、僅差で第三五施設中隊が優勝の栄冠を得た。

また、見学に訪れた市民及び隊員家族も、競技会で出来あがったばかりの親子丼等を試食。「演習場でこんなに美味しい料理をいただけるとは思わなかった。私たち主婦も願負け。」との評価も得、一般市民・隊員家族に理解を得る意義ある公開訓練となった。

第十二施設群は、五月八日から五月十七日までの間、矢白別演習場で群第一次野営を実施した。

本野営は、春季演習整備作業を目的として例年行われており、群全隊力を投入して整備を行い、併せて訓練を実施した。

今年の整備作業は、黒ほく土による道路の構築並びに整備担任道路の路面整形、砂利搬入及び溜樹の新設、補修を行った。

作業は、早朝から夜間まで、機械を止める事なく行って順調に進み、後半雨により作業進度



#1群野営（矢白別）・障害の構成・掩体等の構築・通信



が遅れたものの、所望の整備を完了した。

訓練については、昨年に引き続き整備作業の間に中隊対抗の障害の構成、掩体等の構築

及び通信の三種目について競技会を行った。

障害の構成は、地雷原及び道路障害の構成を行い、第三三五施設中隊が、掩体等の構築は、ライナープレート構築、二十HSP掩体の経始を行い、第三三七施設中隊が、また、通信競技会は有線の構成、無線による送受信を行い、第三

三三五施設中隊がそれぞれ優勝した。

以上のとおり本野営の目的を達成されたが、第十二施設群は、あらゆる機会をとらえ訓練を行って、「世界一精強な施設群」を目指している。

通信（有線送受中）
地雷敷設中の隊員

駐屯地行事予定									
<h3>駐屯地創立記念日</h3> <p>2.9.23(日) 午前10時～午後2時</p>	<table border="1"> <tr> <td>九月分員展</td> <td>14日～16日</td> </tr> <tr> <td>* 第三施設団創隊記念</td> <td>16日</td> </tr> <tr> <td>* 岩見沢駐屯地創立記念</td> <td>23日</td> </tr> <tr> <td>* ヘリ体験搭乗</td> <td></td> </tr> </table>	九月分員展	14日～16日	* 第三施設団創隊記念	16日	* 岩見沢駐屯地創立記念	23日	* ヘリ体験搭乗	
九月分員展	14日～16日								
* 第三施設団創隊記念	16日								
* 岩見沢駐屯地創立記念	23日								
* ヘリ体験搭乗									
	<table border="1"> <tr> <td>十月分群検閲</td> <td>2日</td> </tr> <tr> <td>出陣式</td> <td>2日～4日</td> </tr> <tr> <td>* 北部方面隊指命演習</td> <td>22日～26日</td> </tr> </table>	十月分群検閲	2日	出陣式	2日～4日	* 北部方面隊指命演習	22日～26日		
十月分群検閲	2日								
出陣式	2日～4日								
* 北部方面隊指命演習	22日～26日								

各中隊・小隊等の訓練検閲を実施

第三四二施設中隊 第三一一二施設器材中隊 器材小隊(A) 器材小隊(B)



群は、七月五日から七月八日の三夜四日にわたり、多田分屯地に於て、第三四二施設中隊並びに第三一一二施設器材中隊器材小隊(A)及び器材小隊(B)に対して平成二年度訓練検閲を行った。

課目は、第三四二施設中隊が応急道路の新設及び維持・補修について、第三一一二施設器材中隊A小隊は、応急道路新設時における自走架柱橋の新設及び橋梁の維持・補修。B小隊は、応急道路の新設及び維持・補修について実施した。

第三四二施設中隊及び器材中隊B小隊の道路の新設では、地域特性上岩が多く、岩盤との戦いで、ブルドーザ、油圧ショベルのバイブローハンマーを駆使しての作業となった。また、B小隊の自走架柱橋の新設は、制約条件と不整地により作業は難航した。

数々の無条件の下、隊員は中隊長及び小隊長を核心として士気旺盛、機械力を駆使し

本部管理中隊及び第三三七施設中隊

群は、引き続き七月十二日(十六日)の間、本部管理中隊の小隊・班及び第三三七施設中隊に対し訓練検閲を行った。

課目は、整備小隊が対着上陸防衛において、整備所の開設・運営に任ずる整備小隊の衛生班の行動。第三三七施設中隊は、対着上陸防衛支援に



デイスコで交流

駐屯地では、四月二十一日、岩見沢市内スナックを会場にして、独身隊員と近郊の若い女性との交流ダンスパーティーを行った。

ダンスパーティーは、岩見沢市青年会議所・二世会の主催により行われたもので、駐屯地から独身の若い自衛官四十五名と多種多様な職場から参加した若い女性約五十名によりデイスコ調を主体とした

たプレゼントを差出し、「宜しく!」「お願いします」「マッタ!」「ごめんなさい」の声。若さ溢れる熱気と楽しい雰囲気の中、ツーショットが多数誕生した。

独身自衛官と市内の若い女性との楽しい語らい、ふれあいの場を企画運営して頂いた青年会議所・二世会の皆様にご挨拶するとともに、是非、次回開催を隊員一同待ち望んでいます。

任ずる施設中隊の行動について実施した。

本部管理中隊整備小隊は、状況に応じ、迅速に整備所を開設するとともに、迅速・的確に整備を行い、その評価は概ね優良。

偵察班は、対着上陸防衛に資する地誌の迅速・的確な収集と報告を行い、評価は良好。通信班は、移動間の通信、

また、第三三六施設中隊は久保田中隊長の「ワイルド・パンブ三三六」を合言葉に士気旺盛。海岸の砂地に各施設等を一夜二日の不眠不休の連続作業により、要求時間より約半日間も短縮して概成させた。

第三三五施設中隊及び第三三六施設中隊

群は、両中隊に対し七月十八日(二十一日)の間、天塩訓練場において訓練検閲を行った。

課目は、両中隊とも対着上陸防衛支援に任ずる施設中隊の行動について実施し、第三三五施設中隊は、水際地雷原の構成。第三三六施設中隊は、砂地におけるCP施設の構築、十五日SP掩体及び掩蔽部の構築を実施した。

特に、掩蔽は異なる部材の組合せにもかかわらず、群の要望した設計基準をほぼ完全に達成し、良好の評価を得た。

課目は、両中隊とも対着上陸防衛支援に任ずる施設中隊の行動について実施し、第三三五施設中隊は、水際地雷原の構成。第三三六施設中隊は、砂地におけるCP施設の構築、十五日SP掩体及び掩蔽部の構築を実施した。



◀より安く荘厳に御奉仕します▶
霊柩車・バス送迎サービス
(+遺体搬送車あります。)
(株)岩見沢葬儀社
ほんだ花や
互助会々員の方も御利用できます。
▶納棺無料サービス▶年中無休▶24時間営業
岩見沢市4条西10丁目 ☎23-1125

北海道電力株指定・ナショナル電工チェーン店
東芝電材チェーン店・電気工事設計施工
火災報知設備・照明器具・家庭電化製品
有限会社 千葉電気商会
☎068 岩見沢市東山町2番地7-1
電話 (0126) 24-4567番

宝石 創業82年 貴金属
防衛庁共済組合岩見沢支部契約店
株太田時計眼鏡店
岩見沢市1条西4丁目
☎0126-23353・23354

新隊員前期教育修了

岩見沢駐屯地では、四月一日から実施されていた前期教育三十五名の修了式を六月十九日駐屯地体育館で行った。

修了式には、来賓の国兼孝治市長や父兄約五十人が参加して行われ、寺村群長が一人ひとりに修了書を手渡し「一人の脱落者もなく全員をそろって修了できるのは、諸官らの努力のためもの。同期の絆を大切に、決意も新たに頑張ってください。」と訓示。来賓の国兼市長が「皆さんの立派に成長した姿を見て、私の若い頃を思い出した。これからも自衛官として一生懸命頑張ってください。」と祝辞を述べた。



岩見沢駐屯地で過ごした十二週間、数々の思い出と未来への希望を抱き、それぞれの部隊へ配属となった新隊員達に、今後大きな期待かよせられる。

#3 駐屯地司令杯少年野球大会 上幌向子供会初優勝

第三回駐屯地司令杯争奪少年野球大会は、六月十六日から行われ、雨のため順延となっていたが、七月一日再開し、者等三百七十名が参加して



駐屯地野球場と宮庭の二会場を使用して行われた。今年大会は、雨により日程を延期して行い、初日、一回戦四試合、二日目、残りの一回戦を、三日目、二回戦以降を行った。

決勝戦は、上幌向子供会と日の出千草子供会が対戦し上幌向子供会が七対一で初優勝した。試合終了後、閉会式を行い、上幌向子供会に駐屯地司令杯が贈られた。また、今年の最優秀選手には上幌向子供会の市村隆剛君、優秀選手には日の出千草子供会の川村俊介君がそれぞれ選ばれた。成績は、次のとおり
準優勝 日の出千草子供会
第三位 志文ふじ団地子供会
第四位 緑清子供会

駐屯地テニス大会 優勝 業務隊鎌倉・須古組

駐屯地では、五月二十三日から五月三十日までの間、課外を利用して部隊対抗の硬式ダブルステニス大会を行った。

テニス大会は、各中隊の代表による予選リーグ（四プロック）が行われ、珍プレーが続出し、「久しぶりだから」の言い訳しきりだ。冬季間も体育館等で練習している隊員は、そつない試合運びで連勝。各プロックの上位二個チームが決勝トーナメントに進出した。

月形町花の広場開設支援

第十二施設群では、六月五日、隊区内の月形町階業公園「花の広場」の開設支援を行った。

開設支援を行ったのは、月形地区担当の第三三六施設中隊で中隊長久保田一尉以下総員五十名が、植花作業、炊飯支援及びレンジャー訓練展示を行った。

植花作業には、地元の町民、小・中学生等合わせて約四百五十名が参加をした。第三三六施設中隊は、広さ約一ヘクタールの広場中央に、月形町の町章をあしらった、クロバーの種を撒いた。レンジャー訓練展示は、ロープ橋で、セーラー渡り、モンキー渡りを行い、セーラーからのホールにより偵察用ボートでの



虫「マツカレハ」発生 異常

この夏、駐屯地宮庭の赤松に「マツカレハ」が異常発生し、駐屯地医療室の隊員により駆除した。

異常に気付いたのは、衛生科長で、朝礼時に「一匹のケムシを見つけた、「変だ！もしかして？」点検したところ、マツカレハであることが、判明した。

高さ十五メートル以上もある赤松を枯らしては大変と、業務隊長は早速、駆除するための薬を調達するとともに、駆除する為の消毒方法を検討した。

安全に作業をするため、クレーン高所作業車及びクレーンを使用して安全性を重視して行われた。薬は、リープテレックス、スミナイス乳剤の二種類を使用して二度行った。その結果、一度目の消毒でバケツ一杯のマツカレハが捕獲され、二度目の消毒で完全に壊滅し、赤松が枯れるのを防止した。



自衛隊退職者雇用協議会 岩見沢支部

事務局：岩見沢市商工会議所内
支部長：三谷栄一
TEL：0126-22-3445

新隊員前期教育修了所感 二階士 山下 浩一郎

三月二十六日、自衛隊に入隊してあつたという間に前期教育が終つたかと思つていました。入隊する前は、不安と期待が入り交つて自分では教育期間中最後まで続けていけるだろうかと思つていました。同期の隊員達と語り、助まじしい遊んだり、そして教官や班長・班付の熱心で親身な指導は、僕達の心に自衛隊員としての使命の自覚、また、精神・体力と幾多の面で、真剣に時には優しく、そして厳しく教えてもらいました。

自分かこまでこれたのも教官達や同期の隊員達の支えがあつたということを忘れてはならないと思つていました。

戦技競技会に参加して

架橋競技会



335 中 隆
士 長 山田

私は、六月三日の孫別演習場で行われた架橋競技会に参加しました。

私は、競技会に備えて五月二十八日から六月二日の間、ボーク橋を作つては撤収、また作つては撤収とボーク橋の事はかりの仕事で、分隊長等からいつも叱られてばかりでした。

私は、ボーク橋の仕事内容を覚えていながら、この訓練に通じて覚えてやろうと思つた。私も通じてきました。

ことです。また、太つていた自分が約九キロ近くまで体重が減つたことだ。

この三カ月の教育期間中、初めて手にした小銃の衝撃は今でも覚えています。また、基本教練では、むずかしかつた銃を使つての行進や停止間の動作、そして野営での二十五キロメートル行進など、自分が苦しかつた分、それは基礎となつて自分の中に血や肉として蓄えられてきたと思つています。

岩見沢駐屯地での約三カ月の生活は、自分の貴重な宝物として自分の心の中であつた。あつたという間に過ぎた前期教育であり、又忘れられない生活でした。

この経験を活かして後期教育も前期教育以上に頑張っていく決意です。最後に岩見沢駐屯地の方々に深く感謝致します。

ひるば

通信競技会



335 中 圭一
士 長 石田

それにしても、一週間の練習期間はさすがに長く、練習期間が終了したときは、嬉しさといよいよ本番だということ、失敗しないかという不安もありました。

競技会当日、練習で苦労した甲斐があつて、練習通りに競技会に臨んだ結果、大きな失敗もなく、我が第三三五施設中隊が優勝をした。

優勝した嬉しさもさることながら、今回の競技会を通して感じたことは、如何に日頃の訓練の積み重ねが大切かということだ。

私達隊員の一人ひとりが自分の任務をよく理解し、確実に実行することにより、より速く、正確に分隊や小隊の任務を達成することが出来るものだと身を持って体験することが出来、本当に競技会に参加してよかつたと思つていました。

障害の構成



337 中 重孝
士 長 吉田

第一次群野営は、矢白別演習場五月八日から十七日まで行われました。

中隊は、競技会と演習場整備が主で競技会は、掩体等の構築、対戦車壕の構築、地雷原の構成及び記録、通信の五種目によって行われ、自分は掩体等の構築と地雷原の記録を担当することになり、特に地雷原の記録については初めてでした。

競技会前夜は、何回も教範を繰返して読み込んだり所要名工器具を点検したり寝床についても緊張と不安ですぐには寝つけませんでした。

当日、いよいよ競技会が始まり緊張と不安も一変に吹き飛びました。

結果は、両種目とも惜しくも準優勝。次回は、必ず優勝と思つて、長いようで短い演習も怪我もなく着隊しました。

掩体・構築・地雷



335 中 哲也
士 長 山本

私は、競技会に参加して、ひごろの訓練にはないことを得たような気がしました。

日頃の訓練でも必要なチームワークですが、こと競技会においては、各自の任務の把握はもとより一人ひとりのやる気、それにチームワークです。我が中隊は、優勝したわけですが、その事にも先の事が関係あります。

各自が次々に何をすればよいか任務を覚えていて一人ひとりが任務の完遂を考え、

矢白別演習場整備作業



312 中 良憲
士 長 相原

矢白別の演習場整備は、春と秋の年二回実施されますが、群の中でも器材中隊は機械力を最大限に発揮し常にメイソンとなつて整備にあたるため、目立った反面戦しいものも多々あると言つてもよいと思つます。

春の整備期間当初は、仕上げまでの間、雨の量も少なく状況としては最適ではあつたものの、それは終わつてから言えることであつて、いつものおり次の日はどうなるかわからない天候との戦いので

皆、息をきらしなから働きあつた事で優勝を勝ち取つたと思つています。

自分も参加したわけですが途中何度もう駄目だ、休みたいと思つたこともありましたが同中隊の先輩後輩を見てみんなきついな、と思つて最後まで頑張りました。

また、これらを指揮する分隊長・班長の号令などは大変勉強になりました。

これから自分も陸曹を目指すわけですが、今からこれら分隊長などを見てしっかりと勉強し、いざ班長になつても焦らず組員を指導できるように勉強したいと思つています。

これからも、このような競技会に参加していくと思つています。日頃の訓練も同様ですが、日頃の訓練も同様につかり認識し、つねに創意工夫を考えて中隊でのチームワークを大切に、如何なる訓練にも積極的に、競技会では必ず優勝を勝ち取るように頑張っていきたいと思つています。

しかし、その辛さの裏側には、最高の出来上りの道路、側溝等が堂々としてるので

特に今年は、黒ボク試験道の構築を実施し、その出来はオペレーターとしての満足感で一杯でした。

作業完了とともにその出来映えを喜べる施設科隊員、そして直接実施する器材中隊の一員として、体力だけでなくオペレーターとして今後辛い反面最高の出来映えの美しさを楽しみにするため秋の整備作業を目指し仕事に頑張るつもりです。

近江建設株式会社
 特定土木建設許可・一級建築士事務所
 本社 岩見沢市4条東1丁目49番地 電話23-3026
 支社 三笠市唐松町1丁目374 電話2-3179
 営業所 札幌市中央区南2条西5丁目
 ロジエ札幌25 806号室 電話011-222-5359
 営業所 三笠市城内本沢町 電話2-5403

時代を一步リードした
 中庭のあるモデル住宅
 柏崎建築設計事務所
 建築請負 柏崎建設株式会社
 代表取締役 **柏崎昭朗**
 会社 岩見沢市11条西1丁目
 電話(代)23 2129番
 木工場 岩見沢市東山町
 電話24 1725番

株式会社 本堂建設工業
 取締役社長 **本堂春夫**
 本社 三笠市幾春別町4丁目
 電話(01267) 6-8288 FAX(01267) 6-8030
 札幌支店 札幌市白石区本通1丁目南1
 電話(011) 861-1381 FAX(011) 865-5034
 石狩支店 石狩市花川南1条1丁目1
 電話(0133) 73-3111 FAX(0133) 73-0757

ファミリィコーナー

架橋・炊事競技会見学会に参加して

第三三五施設中隊

宮崎二曹夫人・宮崎 明美

今日は六月三日、前から駐屯地の中に入れるのを楽しみにしていた四歳の息子と二歳の娘を連れ、架橋・炊事競技会の見学会に参加しました。

見学会のは初めてで、日頃、演習で主人達がどうい

事をやっているのかわからなかったのが興味もありました。架橋競技では、全員が泥で真っ黒になりながらもチームワークの良さでみるみるうちに立派な橋が架かり一人ひとりの一生懸命な姿に感動しました。それと同時に、今まで演習から帰ってくるたびにビニール袋一杯詰まった汚物を摘んでプツプツ言っていた自分を反省し今後、演習等から帰って来た日にはお疲れ様の意を込めて、おかずの一品でも

炊事競技の方では、私よりはるかに上手な包丁捌きには、思わず拍手をしてみました。それに加え迷彩服の柄と同じエプロンは、いいアイデアだなと思いました。

帰り際の「山菜のおいしい食べ方」では、灰汁抜きや料理の仕方がよくわかり、勉強になりました。

今日の競技会

私は、大会の前日に、母から隊員さんの競技会があるから一緒に見に行こうと言われ、競技会当日、母に連れられて行きました。

競技会を見て

本部管理中隊 倉橋曹長 長女 倉橋 幸恵

その日は、集まる時間に遅れてしまい、みんなはすでに、競技会場に行っていました。会場を知らない私達は、斉藤さんの運転するシートに乗せてもらい会場まで行きました。

会場に着くと、競技会は始まっています。隊員の人達が一生懸命土を掘る仕事をしていて、とても大変そうでした。

橋が一番先に出来たのが五中隊で、とても早く、五十八分という時間で架かるなんて、



橋が一番先に出来たのが五中隊で、とても早く、五十八分という時間で架かるなんて、

を見ていた息子も、子供ながらに感激したのか「すごいね、すごいね」を連発していました。

これで益々自衛隊大好きになったようです。



今日、自衛隊の炊事車に呼ばれて、

ずいぶん早いなあと思いました。

それでも隊長さんの方がは「まだ十分でない」という感じのお話でした。

ちょっと厳しい審査だなーと思いました。

でも、みんなが泥だらけになって一生懸命になっている姿を見て、とても素晴らしいなと思いました。

やはり、一度は大黒柱である父がどんな仕事をしているか知っておかなければならぬと思います。

機会があれば、また競技会等を見たいと思います。

そして、私も何か目標を持って高校生活の残り一年間を有意義に過ごしたいと思えます。

人間、自分の気づかないところ

花の広場開設支援に参加して



第三三六施設中隊 副隊長 倉橋 篤 第三三六施設中隊 副隊長 倉橋 篤

私達三三六施設中隊は、六月五日植花支援のため、月形町に行きました。

地元及び札幌の小学生約三百名、町民約百名、我が中隊五十名で「月形花の広場」を完成させ、町民と子供達に大変喜ばれました。

昼食は、炊事車で豚汁を作りましたが、これがなかなか好評で特に子供達は何杯もおかわり喜んでいました。

私は、訓練展示要員として、レンジャー訓練の展示をしました。

「食い合わせ」について

古くから「うなぎと梅干

自衛官の妻の心得について

第三三六施設中隊 伊藤 真由美

今回、自衛官の妻の心得について何か書くようにいわれたが、何を書いているのかわからずペンを取った。

私は、四月二十八日に結婚式を挙げたばかりの新米主婦で、まだ夫の仕事、人間関係というものが分からず毎日があつと言ふ間に過ぎて行ってしまう。

私としては、あまり表に出ず夫の背中ごしか世界を見るような、そんな妻にならうと思っている。

別に、昔風の女を演じようとは思っていないが、

人間、自分の気づかないところ

人間、自分の気づかないところ



「蟹と柿」・「天ぷらとすいか」等の物は、食い合わせだ」という言葉がありますが、それらは全くの迷信か誤解のようです。現在、人間が二種類以上の食品を組み合わせて食しても、体内において化学変化を起し、有毒物質を作って中毒を引き起こすことはないと言われています。ただ、食い合わせに登場する物を点検してみると、消化が良くない・脂肪が多い・中毒を引き起こし易い物等が含まれて場合が多いのも事実です。

●年金と医療保険のバイオニア
●生涯の保障に終身保険(明朗)

頭金制度により毎月安い保険料で大きな安心

東邦生命

担当 深沢 隆子 (内327)

「食い合わせ」について
古くから「うなぎと梅干

また、当分は仕事を続けるつもりであるが、このような生活を続けるのであれば、やはり一歩退くことの出来る人間にならなければならない。しかし、このように思い書くのは簡単だが本当にそのようにするかどうかは疑問である。

自然にワソのない生活を続けていけることがベストだと思います。

このような家庭作りが心掛けていけば、自然と心にゆとりができ夫もまた安心して働くことが出来るのではないかと

これが、私の自衛官の妻の心得だと思いいこの作文を締めくくろうと思う。

最後に遅くなりましたが結婚式の時は皆さんお忙しい中出席して下さいました。本当にありがとうございます。近くにいられたらぜひわが家にお寄りください。

「食い合わせ」について
古くから「うなぎと梅干

また、当分は仕事を続けるつもりであるが、このような生活を続けるのであれば、やはり一歩退くことの出来る人間にならなければならない。しかし、このように思い書くのは簡単だが本当にそのようにするかどうかは疑問である。

自然にワソのない生活を続けていけることがベストだと思います。

このような家庭作りが心掛けていけば、自然と心にゆとりができ夫もまた安心して働くことが出来るのではないかと

これが、私の自衛官の妻の心得だと思いいこの作文を締めくくろうと思う。

最後に遅くなりましたが結婚式の時は皆さんお忙しい中出席して下さいました。本当にありがとうございます。近くにいられたらぜひわが家にお寄りください。

「食い合わせ」について
古くから「うなぎと梅干

また、当分は仕事を続けるつもりであるが、このような生活を続けるのであれば、やはり一歩退くことの出来る人間にならなければならない。しかし、このように思い書くのは簡単だが本当にそのようにするかどうかは疑問である。

自然にワソのない生活を続けていけることがベストだと思います。

このような家庭作りが心掛けていけば、自然と心にゆとりができ夫もまた安心して働くことが出来るのではないかと

これが、私の自衛官の妻の心得だと思いいこの作文を締めくくろうと思う。

最後に遅くなりましたが結婚式の時は皆さんお忙しい中出席して下さいました。本当にありがとうございます。近くにいられたらぜひわが家にお寄りください。

「食い合わせ」について
古くから「うなぎと梅干

また、当分は仕事を続けるつもりであるが、このような生活を続けるのであれば、やはり一歩退くことの出来る人間にならなければならない。しかし、このように思い書くのは簡単だが本当にそのようにするかどうかは疑問である。

自然にワソのない生活を続けていけることがベストだと思います。

このような家庭作りが心掛けていけば、自然と心にゆとりができ夫もまた安心して働くことが出来るのではないかと

これが、私の自衛官の妻の心得だと思いいこの作文を締めくくろうと思う。

最後に遅くなりましたが結婚式の時は皆さんお忙しい中出席して下さいました。本当にありがとうございます。近くにいられたらぜひわが家にお寄りください。

「食い合わせ」について
古くから「うなぎと梅干

また、当分は仕事を続けるつもりであるが、このような生活を続けるのであれば、やはり一歩退くことの出来る人間にならなければならない。しかし、このように思い書くのは簡単だが本当にそのようにするかどうかは疑問である。

自然にワソのない生活を続けていけることがベストだと思います。

このような家庭作りが心掛けていけば、自然と心にゆとりができ夫もまた安心して働くことが出来るのではないかと

これが、私の自衛官の妻の心得だと思いいこの作文を締めくくろうと思う。

最後に遅くなりましたが結婚式の時は皆さんお忙しい中出席して下さいました。本当にありがとうございます。近くにいられたらぜひわが家にお寄りください。

安心し？かり
愛車もしかり

車検費用積立プラン

富士火災

担当 松浦 直樹
岩見沢支社 Tel.23-5142

安心とゆとりのプラン

協栄生命 LLワイド 15.50/100

担当: 田村純子 桑本早苗 更新型

余裕資金を上手に活かして大型保障

協栄の保険料面金制度をご利用ください

定期特約付終身保険

協栄生命保険株式会社

昇任・合格おめでとう

第十二施設群

- ・一等陸尉へ
 - 中村 謙一
- ・二等陸尉へ
 - 田中 明光
 - 折笠 忠一
 - 三三六施中 鈴木 真司
 - 三三一六施中 迫田 寿
- ・三等陸尉へ
 - 本管中 神田 務
 - 准陸尉へ 霧下 隆徳
 - 本管中 佐藤 清秋
 - 陸曹長へ 土井 一寛
 - 本管中 石川 征明
 - 三三三六施中 板谷 孝昭
 - 三四二施中 松井 充
 - 三一二施器中 高橋 道行
 - 一等陸曹へ 北山 幸一
 - 本管中 渡辺 修
 - 三三三六施中 上杉 高正
 - 三三七七施中 望月 准
 - 三三二二施器中 渡辺 衛
 - 砂田 栄治
 - ・二等陸曹へ
 - 本管中 藤本 正
 - 山口 和人
 - 阿部 康弘
 - 加茂 弘一
 - 菊池 勝博
 - ・三等陸曹へ
 - 本管中 杉田 龍典
 - 村上 直樹
 - 西野 孝一
 - 上村 修司

定年退官

永い間ご苦労
さまでした。

・第三三六施設中隊
曹長 堀井 純平 5・9
住 所 岩見沢市志文町4-1
就職先 開発工建設株式会社
・本部管理中隊
三等陸尉 加藤 和美 5・28
住 所 日の出合丁目9-15
就職先 北海道鉱山保安

三三三六施中 澤原 智
三三七施中 今泉 英雄
陸曹候補生へ
三三三六施中 奥村 篤広
三三七施中 斉藤 武彦
三四二施中 木村 清弘

・操縦学生
三三三六施中 西村 眞吾

・四級賞詞
三曹本田 則康 車 4・23

おめでた
新婚さん
長野 滋博 妻慶 子 5・11
加藤 義信 妻留美子 5・31

こんにちは
赤ちゃん
吉田 吉彦 長女 優華 4・18
南城 勲 二男 溪 5・13
鎌倉 守 二女 弘実 5・21
土屋 修 長女 玲加 6・1
三沢 昭光 長男 翔 6・8

夏型交通事故防止 警務隊 小林二曹

いよいよ夏本番、レジャーシーズンとなり海・山等に出かける機会が多くなってきました。最近ではレジャー中にドラッグ中の事故が多く発生しています。その大半は、速度の出過ぎ・うっかり運転・無理な追越し、居眠り・信号無視等に

よる交通事故です。このような事故を防ぐには先ずゆとりある計画を立て目的の地への往復はルールを守り自己の腕を過信せず「ゆっくりに走る」ことに心掛け、安全運転管理を徹底し、「慎重な運転」で交通事故を防ぎましょう。

隊員紹介 (三名)



第三三七施設中隊所属の田中和彦君を紹介します。彼は、北海道出身で、昭和六十二年四月、国防の任に燃え、自衛隊に入隊。新隊員の教育課程を終え、同年九月中隊に配属され、以来我が三三七施設中隊の若い戦士として訓練・戦技等に活躍している。彼はスポーツ万能で、スキー・自衛走・銃剣道等の戦技競技会には第十二施設群の代表選手として活躍する他、職務面においても新入隊員の兄貴的存在で、営内隊員を指導する中隊陸士隊員の模範となっている。

また、宴会等では独自のユニーク性で酒席の炎の火付け役となつて沈黙を許しません。特に、女性には得意の話を発揮。いつの間にか彼の周りには女性が集まつてしまふ。そんな彼は最近、一段と「やる気」になっていきます。それは「陸曹」という目標

基地通信業務雑感



本部管理中隊 二等陸曹 宮崎 弘之 溶接を担当し頑張っています

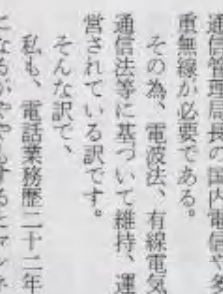


日頃、通信を御利用戴き有難うございます。業務内容は、N T T 岩見沢支店の小型化したもので、電話、信電、搬送業務をおこなつており特徴と言えは何かの国家資格が必要だと言ふことでしょうか。

川柳もどき (別海編)
六中 ITWA
・戦技競技会勝つて嬉しい
初陣中隊長



岩見沢駐屯地業務隊ボイラー係長の扇 宗夫技官は、平成二年五月、岩見沢市軟式野球連盟から審判員として永年 にわたる岩見沢市のスポーツ振興に寄与した功績により表彰状を授与された。



私も、電話業務歴二十二年になるがやややるとマンネリ化が先行し、つい、電話線の高さ、離隔距離、通信柱の強度等を忘れ即答出来ないなど反省面も多い、また、通信は器材の技術革新が激しく、よりよい速さでしかも小型軽量化に更新されつつある。

・雨にうたれし矢白別
補修路面はいまいちのどき
六中 KIRKAWI
・宿営地 毎夜のお客は やせキツネ
次は女にバケてこい

サンフラザウェディングプラン

華燭

家式から披露宴までのすべてをセットしてこの価格!

ご両家ご負担 **200,000円**

★会場お1人様5,500円・人数・200,000円(両家ご負担)

豊かな味と憩いの広場

ホテル サンフラザ

岩見沢市4条東1丁目 ☎23-7788

中国風パブスナック

里

岩見沢市3条西1丁目 ☎23-2533
25-0631

あなたの祝典のステーション

岩見沢 平安閣

岩見沢市5条東2丁目
☎(0126) 23-4581